

都市再生整備計画(第1回変更)

かわごえせん にっしん さしおうぎかんしん えきしゅうへん ちく
川越線日進・指扇間新駅周辺地区

さいたま
埼玉県 さいたま市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	さいたま市	地区名	川越線日進・指扇間新駅周辺地区	面積	145 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標

大目標：新駅設置及び土地利用転換による都市基盤の一体的な整備を図り、都市機能を集積した利便性の高い地域交流、生活拠点を創出する。

- 目標1：新駅及び区役所周辺の都市基盤整備による新たな市街地の形成。
- 目標2：新駅周辺のアクセス道路網、駐輪場整備による利便性の高い交通結節点の形成。
- 目標3：ゆたかな緑・水など自然環境を活かした魅力的で快適な街並みの形成。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本地区は、東京都心から北西約30km、大宮駅から北西約4kmの首都圏近郊に位置し、JR川越線日進駅と指扇駅の中間に位置する水辺・緑地・農地が多く残る自然環境が豊かな地区である。一方で、新興住宅、商業施設の進出等による無秩序な開発、スプロール化が懸念されており、交通環境でも、東西を横断する幹線道路西大宮バイパスがあるものの、近隣駅(日進駅、指扇駅)が遠距離にあるため鉄道利用者には不便であり、また歩行者がJR川越線踏切や狭隘な道路での往来を余儀なくされているなど利便性、安全性の点で劣っている。こうしたことから、平成10年度にJR川越線北側に隣接する約115haの地域に大宮西部特定土地地区画整理事業(都市再生機構施行)の事業計画決定を受け大規模な新市街地事業に着手し、平成17年度には南側に隣接する約30haの地域に指扇土地地区画整理事業(市施行)の事業計画決定を受け、道路ネットワークの整備や宅地の整序等を進めていくこととしている。平成15年4月の政令指定都市移行により本地区内に西区役所が開設され、JR川越線新駅の設置も予定されていることから、新駅及び区役所周辺に、地域の特性を生かす文化機能、交流機能、商業・サービス機能の充実した市街地の形成が求められており、地域交流、生活拠点にふさわしいまちづくりの早期実現が期待されている。さらに、本地域の豊富な自然環境資源の保全・活用を図り、環境共生に配慮した事業を併せて行っていくことが求められている。

課題

区役所及び新駅予定地周辺における脆弱な都市基盤
JR川越線による地区交流の南北分断
地区への少ないアクセス手段
狭隘道路及び踏切利用による歩行者等の交通環境の危険性

将来ビジョン(中長期)

総合振興計画基本計画(平成16年3月)
「良好な市街地整備」として、「秩序ある市街地の形成」を図ることとしており、鉄道駅や区役所周辺における地域拠点の形成、都市機能の更新・再生及び都市の安全性向上、及び自然環境と共生した質の高い住宅地の供給を図ることとしている。
都市計画マスタープラン
「将来の都市構造」のうち「市街地ゾーン」として、周辺の自然環境や農地等との調和に配慮し、環境と共生した「みどり豊かな新しい市街地の形成」、及び新駅周辺での都市機能の集積した「新しい地域拠点の形成」を図ることとしている。
緑の基本計画
「緑のまちなみ形成ゾーン」として、「歴史を伝える緑や身近な緑の保全・活用」を図ることとしている。

目標を定量化する指標

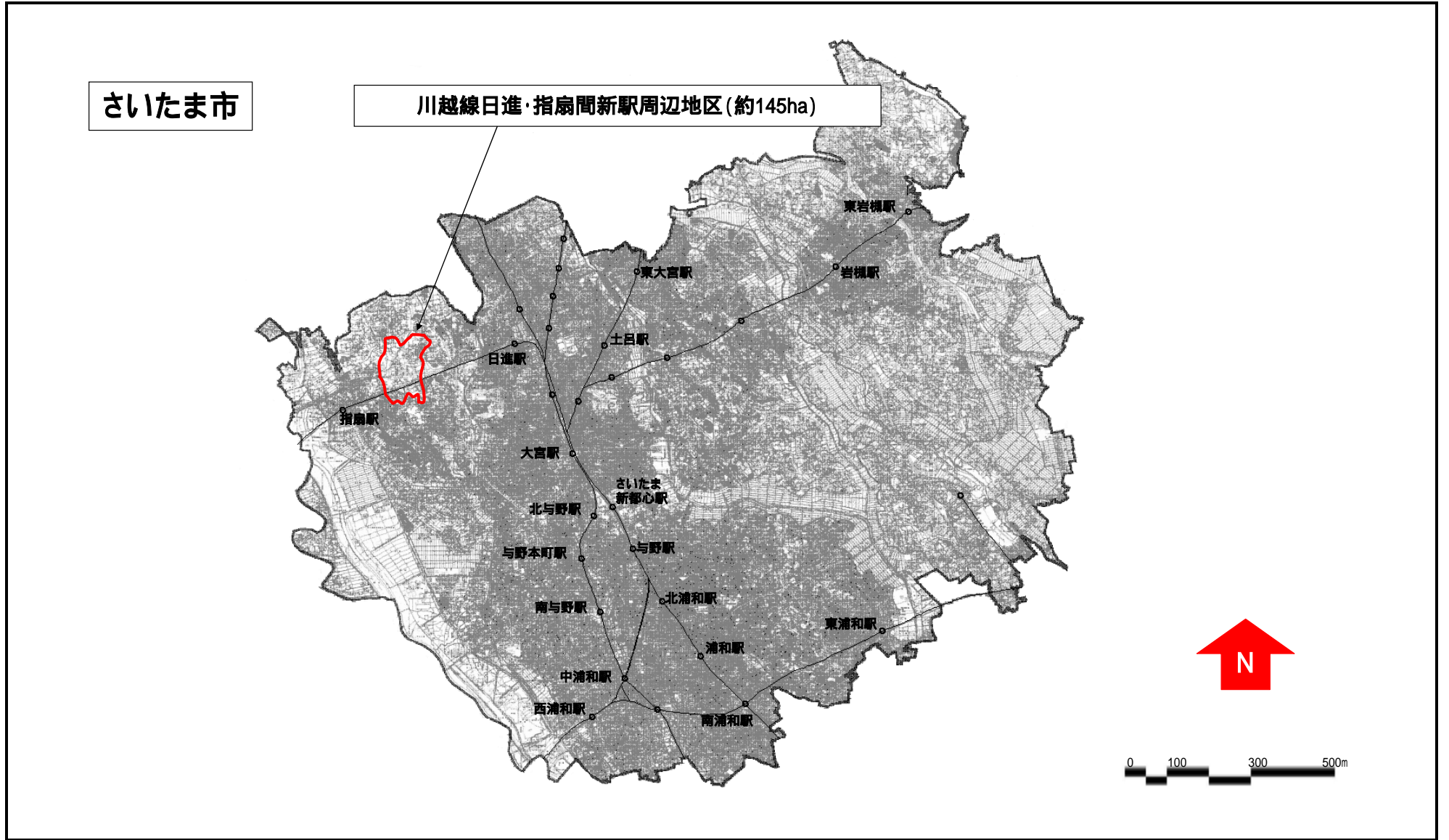
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
地区内居住者人口	人	地区内の住民基本台帳人口	生活基盤及び魅力的で快適な魅力的で街並みの形成	1,200	平成17年度	2,500	平成22年度
新駅利用者(転移・転換)数	人	近隣駅(日進駅・指扇駅)及び他交通機関の利用変更者数	新駅設置、アクセス道路網等による利便性の高い交通結節点の形成	0	平成18年度	14,000	平成22年度
交通安全性・生活利便性満足度	%	西区区民意識調査による「交通安全対策状況」「公共交通機関・道路の使いやすさ」の評価	自転車駐車場、バリアフリー化等による利便性の高い交通結節点及び魅力的で快適な街並みの形成	1.0	平成15年度	1.3(30%増)	平成22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・地域交流、生活拠点にふさわしいまちづくりの早期実現のため、新駅及び区役所周辺の都市基盤整備を促進し、生活利便性の向上及び人口定着を図る。</p>	<p>(基幹事業) ・都市再生土地区画整理事業 ・地域生活基盤施設(新駅北側自転車駐車場) ・高質空間形成施設(駅前広場、駅前通り) ・高次都市施設(自由通路)</p> <p>(提案事業) ・地域創造支援事業(新駅設置)</p> <p>(関連事業) ・大宮西部特定土地区画整理事業 ・指扇土地区画整理事業 ・地域生活基盤施設(新駅北側・南側自転車駐車場)</p>
<p>・地区の南北分断解消及び交通環境改善のための交通結節点等を整備し、交通利便性、安全性の向上を図る。</p>	<p>(基幹事業) ・都市再生土地区画整理事業 ・道路(指扇第一踏切拡幅) ・地域生活基盤施設(新駅北側自転車駐車場) ・高質空間形成施設(駅前広場、駅前通り) ・高次都市施設(自由通路)</p> <p>(提案事業) ・地域創造支援事業(新駅設置)</p> <p>(関連事業) ・大宮西部特定土地区画整理事業 ・指扇土地区画整理事業 ・地域生活基盤施設(新駅北側・南側自転車駐車場)</p>
<p>・豊かな自然環境を保全・活用し、環境共生に配慮した都市基盤整備を進める。</p>	<p>(基幹事業) ・都市再生土地区画整理事業 ・河川事業(準用河川滝沼川)</p> <p>(提案事業) ・事業活用検討調査(緑地環境活用検討調査)</p> <p>(関連事業) ・大宮西部特定土地区画整理事業 ・指扇土地区画整理事業</p>
<p>その他</p> <p>事業終了後のまちづくり 本地区は、緑地・水辺空間・農地が多く、現地調査で貴重な生物が確認されるなど豊かな自然環境を有している。今後の事業進捗に合わせ、これら環境資源の保全・活用を図るための地区計画、景観形成方策を検討するとともに、環境共生に配慮したみどり豊かな住環境の整備を本都市再生整備計画終了後、平成23年度以降も継続して一体的に実施していく必要がある。</p>	

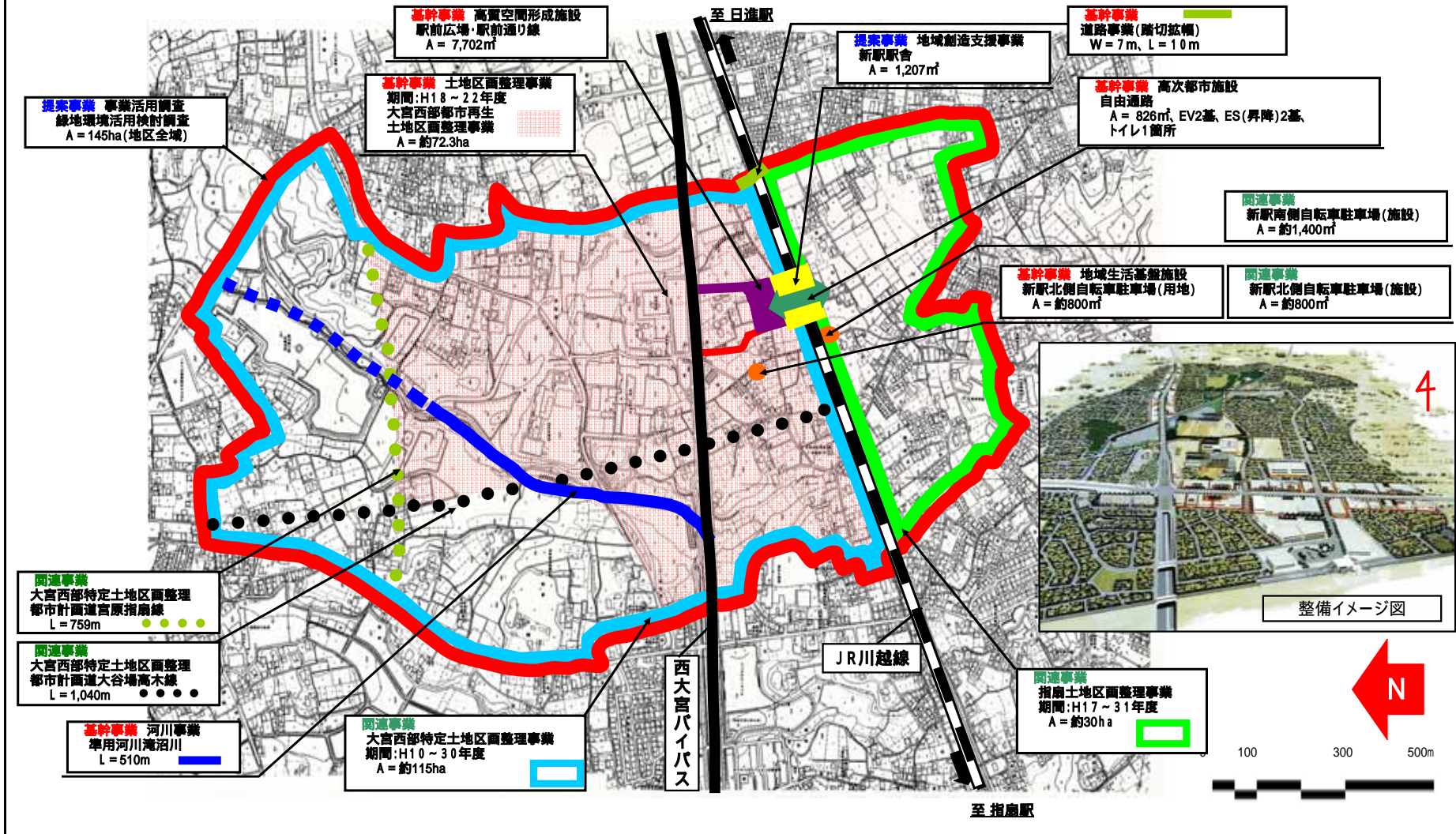
都市再生整備計画の区域

川越線日進・指扇間新駅周辺地区(埼玉県さいたま市)	面積	145 ha	区域	西区大字高木(字氷川、字小明、字道下、字稲荷下及び字稲荷前の各一部)、大字清河寺(字丸山の全部、字西原、字前原、字大塚及び字天山の各一部)、大字指扇(字大の全部、字木、字大西、字増永及び字金井の各一部)
---------------------------	----	--------	----	---



川越線日進・指扇間新駅周辺地区(埼玉県さいたま市) 整備方針概要図

目標	新駅及び区役所周辺の都市基盤整備による新たな市街地の形成 新駅周辺のアクセス道路網、駐輪場整備による利便性の高い交通結節点の形成 ゆたかな緑・水など自然環境を活かした魅力的で快適な街並みの形成	代表的な指標	地区内居住者人口 (人)	1,200 (H17年度)	2,500 (H22年度)
			新駅利用者(転移・転換)数 (%)	0 (H18年度)	14,000 (H22年度)
			交通安全性・生活利便性満足度 (%)	1 (H15年度)	1.3(30%増) (H22年度)



基幹事業 高質空間形成施設
駅前広場・駅前通り線
A = 7,702㎡

提案事業 地域創造支援事業
新駅駅舎
A = 1,207㎡

基幹事業
道路事業(踏切拡幅)
W = 7m, L = 10m

提案事業 事業活用調査
線地環境活用検討調査
A = 145ha(地区全域)

基幹事業 土地区画整理事業
期間:H18~22年度
大宮西部都市再生
土地区画整理事業
A = 約72.3ha

基幹事業 高次都市施設
自由通路
A = 826㎡, EV2基, ES(昇降)2基,
トイレ1箇所

関連事業
新駅南側自転車駐車場(施設)
A = 約1,400㎡

基幹事業 地域生活基盤施設
新駅北側自転車駐車場(用地)
A = 約800㎡

関連事業
新駅北側自転車駐車場(施設)
A = 約800㎡

関連事業
大宮西部特定土地区画整理
都市計画道宮原指扇線
L = 759m

関連事業
大宮西部特定土地区画整理
都市計画道大谷場高木線
L = 1,040m

基幹事業 河川事業
準用河川滝沼川
L = 510m

関連事業
大宮西部特定土地区画整理事業
期間:H10~30年度
A = 約115ha

関連事業
指扇土地区画整理事業
期間:H17~31年度
A = 約30ha